

地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	○
	地域医療、福祉・介護、教育	○	観光・交流	◎
	地域コミュニティ・集落再生	○	環境	○
	地域交通・情報通信	○	まちづくり	◎
ふりがな		やまだ けいいちろう		
氏名		山田 桂一郎		
所属	名称	JTIC.SWISS		
	役職	代表		
連絡	住所 (職場)	〒102-0084 日本:東京都千代田区二番町 1-2 番町ハイク 701 スイス:Postfach253 CH3920 Zermatt Switzerland		
	連絡先	e-mail	eco_kei[アットマーク]yahoo.co.jp	
		TEL 03-3261-7861	FAX -	
連絡方法	-			
略歴	<p>1987年 スイス・ツェルマット観光局 日本人対応インフォメーション、セールスプロモーション担当</p> <p>1992年 JTIC.SWISS(スイス 日本語インフォメーションセンター)設立</p> <p>1996年 環境省環境カウンセラー(事業者部門)、スイス・ヴァレー州観光局日本・アジア向けプロモーション担当</p> <p>1999年 Mt.6(ベスト・オブ・ザ・クラシック・マウンテンリゾート)環境政策とCS(顧客満足度推進)顧問2003年 環境省環境カウンセラー(市民部門)</p> <p>2004年 特定非営利活動法人日本エコツーリズム協会理事、まちづくり観光研究所主席研究員</p> <p>2005年 内閣府、国土交通省、農林水産省「観光カリスマ百選」認定</p> <p>2006年 日本エコウォーク環境貢献推進機構委員</p> <p>2010年 総務省「地域力創造アドバイザー」</p> <p>2011年 和歌山大学産学連携研究支援センター客員教授、北海道大学観光学高等教育センター客員准教授</p> <p>2014年 にっぽん炊き込みごはん協会代表</p> <p>2015年 内閣官房「地域活性化伝道師」、和歌山大学教育政策アドバイザー</p> <p>2016年 内閣官房「クールジャパン地域プロデューサー」、北海道大学観光学高等教育センター客員教授</p> <p>2016年 奈良県立大学客員教授、ジャパンエコトラック推進協議会理事</p> <p>2017年 和歌山大学南紀熊野サテライト客員教授</p>			



※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールを送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>2020年 富山福祉短期大学客員教授</p> <p>2021年 一般財団法人 地域活性化センター シニアフェロー、一般社団法人 日本スノーリゾート&リゾート協議会参与</p> <p>2024年 一般社団法人サステナブルツーリズムイニシアティブ理事</p> <p>※他にも省庁や自治体などの委員、顧問、アドバイザー、プロデューサーなどを務めています。</p>
著作・論文等	<p>平成 26 年 3 月 「しなやかな日本列島の作り方」新潮社（メイン著者 藻谷浩介 対談本）</p> <p>平成 26 年 12 月 「知られざる日本の地域力」今井書店 共著</p> <p>平成 27 年 9 月 （株）日本経済新聞出版社 『訪日外国人 インバウンド市場攻略の鉄則共著</p> <p>平成 27 年 11 月 総合ユニコム株式会社 「月間レジャー産業」世界屈指のスノーリゾートへ「地域経営のスタンスからゼロベースでスノーリゾートの再構築を」</p> <p>平成 28 年 1 月 （株）トラベルジャーナル 動きだす日本版 DMO～観光地域づくりに経営の視点「幸せと豊かさの°感幸地°へ」</p> <p>平成 28 年 4 月 商工ジャーナル「観光を日本のリーディング産業に」</p> <p>平成 28 年 11 月 「観光立国の正体」新潮新書（共著）</p> <p>平成 29 年 9 月 日本経済新聞社 日本経済新聞 経済教室「やさしい経済学」観光立国と地域振興</p> <p>令和元年 9 月 基調論文「真の観光立国を目指す」（一般財団法人 地域活性化センター刊行「地域づくり」2019 年 2 月号）</p>
取組概要	<p>これまで北海道から沖縄県の離島まで全国各地のあらゆる地域振興や活性化に関わってきました。特に、住民主体の地域経営組織の立ち上げと運営や地元民間事業者による様々なローカルビジネスの収益化を基軸にした地域経済循環の活性化を推進してきました。基本は全て「自立」と「持続・改善」です。</p> <p>また、政策、施策、事業化には地域経営の視点を重視しています。どれだけ良い計画やデザインであったとしても、人間社会の「エゴ」と「利害」により全てが崩壊します。多くの地域が単年度やりっぱなし事業で地域が疲弊疲労している現実があります。地域住民も何をやっても良いのか全くわからない場合もあります。それ以上に目の前の生活に困っていない人もいます。このような状況から脱出するためには、地域の問題、課題を自分事として住民が認識することが重要であり、住民が根本的な解決と共に自らの未来を切り開く活動に取り組むことが必要です。学問や机上の空論の世界ではなく、日々現場で地域の生き残りを皆さんと一緒に真剣に考え、実践しています。</p>
メッセージ	<p>スイスから日本へ毎月一度は自腹で通いながら地域振興・活性化に取り組んでいます。全ての事業に対して「自立」と「持続」が出来ること、地域経営の視点でマネジメントやマーケティングに取り組むことで地域にとって最適な成果や結果を出したいと考えています。これまでも各地各所からご評価を頂いていますが、2011年には日経ビジネス誌で「次代</p>

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

登録期間 令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 9 月 30 日

	を創る100 人」に選出されました。今後も行政や民間企業の事業化、住民主体の地域づくりとそだてを中心に現場で努力を続けたいと思います。
関連ホームページ	Wikipedia 山田桂一郎 https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B1%B1%E7%94%B0%E6%A1%82%E4%B8%80%E9%83%8E
活動エリア	-

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。